

# 岩屋中だより

令和7年10月31日 NO18

発行 長崎市立岩屋中学校

文責：校長 川口 猛

## 学力向上と読書の秋

『考え、自分の考えをまとめ、書く』これが、全国学力、県学力、市学力検査で明らかになった本校の課題です。この部分の点数が低いということがデータで明らかになりました。また、もう一つ課題が浮き彫りになったのが、昨年、一昨年も同じでしたが、『家庭学習の時間が非常に短い』ということでした。いずれも、昨年度の課題と同様でした。

NO16でも紹介しましたが、書くという作業に慣れていない生徒のために、内容が素晴らしいノートやワークシートを掲示しました。今後もノートやワークシートに限らず、整理して考え、そしてそれを文章にして書いた良い例を掲示していきたいと思っています。

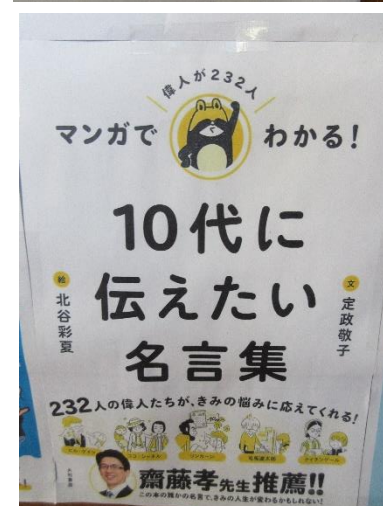
また、授業の中でも自分の考えを深め、試行錯誤しながら考える活動をこれまで以上に取入れ、実際に字で書いたり、タブレット端末で入力表現したりしたいと思います。

さて、全校生徒の皆さんにもチャレンジしてほしいことがあります。それは、思考力を高めるために読書をお勧めします。本校の図書室は、バラエティに富んだ本がたくさんあり、読書をするには抜群の環境です。本をたくさん読み、目から入っている情報を頭の中で整理することで、まとめる力や考える力が高まっていくと思います。現在は、本も電子化されるようになりましたが、アナログであろうとデジタルであろうとどちらでもよいと思います。ただ、図書室に行くと、選ぶ際により多くの情報が瞬間的に入手できる場所が強みと言えます。新刊図書の案内が掲示されていたので、紹介します。ぜひ読書の秋で心も、頭も豊かにしていきましょう。

次号で本校の学力向上プランを紹介します。

右、ならびに2ページ目に載せているのが、本校の図書室の新刊案内です。題名だけ見ても大変面白そうな本です。ぜひ、皆さんの読書量がアップすることを願っています。時間はあかかりますが、必ず学力の向上につながります。





どれも面白そうなタイトルですね。秋の夜長に読書をお勧めします。あっ、そういえば、今月はハロウィンですね。英語掲示コーナーもぜひご覧ください。アリエッタ先生が丁寧に製作しました。

